

## 台湾特許法における特許出願の手続きの流れについて

現行の台湾特許法における特許出願の手続きの流れは以下の通りです。

1.適法に特許出願された場合は、その出願の出願日から18ヶ月を過ぎた日に、又は該出願が優先権の主張を伴う場合は優先日を過ぎた日に、自動的に、要約書及び代表図が公開され (Pre-Grant Publication )、Pre-Grant Publication の日及び番号が付与される。

出願人が希望すれば、早期公開の請求をすることができる。また、出願日から14ヶ月以内に出願が取り下げられた場合は、公開されない。

2.実体審査の請求は、出願日から3年以内にしなければならず、その期間内に請求がなかった場合は、その出願は取り下げられたものとみなされる。

3.通常、実体審査の請求があった後、18ヶ月程度で、特許庁から審査報告が通知される。

(1)出願が拒絶された場合は、審査官は出願人に再審査の請求をする期間として60日を与える。2回目の審査報告は、拒絶に対する意見書 (argument )及び / 又は補正書が特許庁に提出されてから15 ~ 18ヶ月程度で通知される。

(2)審査官は、出願を直接拒絶しないで、出願人に補正及び / 又は応答 (response )の提出を求めるために、レターや電話で連絡してくる場合がある。かかる場合も、補正及び / 又は応答を提出するための期間として、60日の期間が出願人に通常与えられる。

4.出願が許可された場合は、特許庁は、調印料及び1年分の年金の支払いについて、出願人に通知する。料金が期限までに支払われなかった場合は、出願は消滅する。期間の延期は認められない。

5. 料金が支払われた後、特許証及び許可されたクレームが図面とともに発行され (Post-Grant Publication) \ Post-Grant Publication の日が特許登録の日となる。Post-Grant Publication について番号は付与されない。

出願人が Post-Grant Publication の延期を望むならば、調印料等の支払いと同時に延期の請求を提出することができる。その理由を記載した書類も必要である。3ヶ月を超える延期の請求は認められない。

6. 年金は、毎年 Post-Grant Publication の日の前日までに支払われなければならない。例えば、Post-Grant Publication の日、即ち特許登録の日、が 2005 年 1 月 11 日ならば、2 年目の年金は、2006 年 1 月 10 日までに支払われなければならない。年金が期間内に支払われない場合は、6ヶ月の支払い猶予期間が認められるが、公的手数料 (official fee) は倍額となる。